

板橋区環境教育推進プラン 2025 の進捗状況について

板橋区環境教育推進プラン 2025（以下、「本プラン」という。）における、平成 31 年度（令和元年度）の進捗状況を取りまとめたので報告する。

1 本プランについて

（１）位置づけ

本プランは、「環境教育等促進法」の規定に基づく、「区域の自然的社会的条件に応じた環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組の推進に関する行動計画」として策定している。また、「板橋区環境基本計画 2025」の基本目標を具体化していくための計画としても位置づけている。

（２）計画期間

本プランの期間は、「板橋区環境基本計画 2025」の計画年次である平成 28（2016）年度から令和 7（2025）年度までの 10 年間としている。

（３）指標

本プランでは、環境教育が効果的に実施されているかどうかを測る物差しとして、10 の成果指標を設定し、数値目標を立てて達成状況を進捗管理している。

2 平成 31 年度（令和元年度）実績値に基づく進捗状況の点検・評価

平成 31 年度（令和元年度）における成果指標の進捗状況について、点検・評価を行った。成果指標については、目標値に対する進捗度を「順調」、「漸進」、「停滞」で評価し、行動変容については、成果指標の基準年値が無いものがあることから、平成 28 年度の数値を基に、平成 29 年度からの進捗を評価する。

成果指標（10 項目）の目標達成状況については、数値は改善しているものの小幅にとどまった「漸進」が 3 項目、数値の改善が認められない「停滞」が 4 項目となったが、「停滞」の全項目で基準年値よりも数値が低下するなど低迷が見られる。これらの現状値と目標値との乖離について十分な原因分析をするとともに、成果指標の見直しを行い、今後は一部に補足情報を追加することで、よりきめの細かい進捗管理を行っていく。

表 1 成果指標の目標達成状況

施策	成果指標数	内訳		
		順調	漸進	停滞
施策1：学びの機会の提供	2	0	0	2
施策2：情報の提供・活用促進	1	0	1	0
施策3：人材の育成・活躍促進	2	1	0	1
施策4：場・拠点の整備・活用	2	1	1	0
施策5：学校等での環境教育の充実	1	0	0	1
行動変容	2	1	1	0
計	10	3	3	4

表2 平成31年度（令和元年度）における成果指標の実績と進捗状況

成果指標	基準年値 (H26年度)	実績値			目標値 (R7年度)	(参考)※1		進捗率	※2 進捗度
		H29	H30	R1		達成率	達成度		
施策1：学びの機会の提供									
①全区民参加型環境保全キャンペーン参加者数(人)	25,674	27,892	26,544	25,495	31,500	80.9%	B	0%未満	停滞
②環境講座参加者数(人)	22,898	19,527	22,751	20,316	30,000	67.7%	C	0%未満	停滞
施策2：情報の提供・活用促進									
③環境教育プログラム利用校(園)の割合(%)	74.4	74.6	82.5	79.5	100	79.5%	B	19.9%	漸進
施策3：人材の育成・活躍促進									
④人材育成に関わる環境講座参加者数(人)	199	241	336	451	400	112.8%	AA	100%以上	順調
⑤環境学習講師派遣人数(人)	363	235	222	290	500	58.0%	C	0%未満	停滞
施策4：場・拠点の整備・活用									
⑥環境登録団体数	27	29	27	36	37	97.3%	A	90.0%	順調
⑦エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数(人)	990	842	981	1,064	1,300	81.8%	B	23.9%	漸進
施策5：学校等での環境教育の充実									
⑧外部人材を活用した環境学習実施校(園)の割合(%)	76.1	66.7	67.5	64.3	100	64.3%	C	0%未満	停滞
行動変容									
⑨エコ生活(アクション9)の実施状況(%)	75.0	83.7	81.7	81.3	100	81.3%	B	25.2%	漸進
⑩環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合(%)	63.0※3 (H28年度)	66.9	67.4	77.1	100	77.1%	B	38.1%	順調

※1: 目標値に対する実績値の達成状況。AA(達成率 100%超)、A(達成率 90%~100%)、B(達成率 70%~90%未満)、C+(達成率 70%未満でも基準年値を上回る)、C(達成率 70%未満で基準年値より悪化)

※2: 計画最終年度の目標達成に向けた進捗状況。基準年値と比較して実績値がこのままのペースで推移した場合に、進捗率が100%以上になるものを「順調」、改善はしているものの100%に届かないものを「漸進」、0%以下になるものを「停滞」とした。(令和元年度については、10か年計画の4年度目(一部を除く)であるため、進捗率が40%を超えているものを「順調」とした。)

※3: 行動変容の基準年値のないものについては、計画初年度である平成28年度の実績(63.0%)を基準とした。(令和元年度が評価の3年度目であるため、残年数から進捗率を算出した33%を超えている場合を「順調」とした。)

3 施策ごとの成果指標の進捗状況概要

施策1：学びの機会の提供

■ 進捗状況

・成果指標の「①全区民参加型環境保全キャンペーン参加者数」と「②環境講座参加者数」は、ともに平成30年度の実績値から減少し、平成26年度の基準年値よりも下回ってしまったため「停滞」となった。

□ 平成31年度（令和元年度）の主な成果

・エコポリスセンターをはじめ、様々な環境教育につながる講座を実施した。エコポリスセンターの館内展示においては、「板橋の蝶写真展」など参加型の展示機会を増やし、来館者が積極的に参加してもらえるような形式での展示企画を行った。
また、エコポリスセンターの出前講座については、これまで区立の保育園・幼稚園・小中学校の授業を中心に行ってきたが、児童館やあいキッズ等へも周知し、今まで以上に裾野を広

げて活動している。

◇ 進捗度が「漸進」又は「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

- ・「全区民参加型環境保全キャンペーン」については、「打ち水キャンペーン」において、天候不良による日照不足で各町会の子どもイベント等での打ち水の実施が中止になったことが、人数が減少した要因と考えられる。また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、キャンペーン自体中止となった。今後は、ホームページやSNSを活用し、集団での実施から、個人での実施を呼びかけ広く区民に取り組んでもらえるよう努めていく。
- ・「環境講座参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の拡大や台風の接近などで開催が中止になったことが、人数が減少した要因と考えられる。今後は、リモートでの講座・教室の開催、ホームページやSNSを活用した情報提供を積極的に行い、コロナ禍のもとでも環境教育を推進できるよう事業展開を図っていく。

◎ 指標と目標値の見直し

- ・①②ともに、変更なし。ただし、補足情報として、「環境講座等の開催回数」を明示する。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、指標の見直しを含めた検討を行う。

施策2：情報の提供・活用促進

■ 進捗状況

- ・成果指標の「③環境教育プログラム利用校（園）の割合」は、基準年値は上回ったものの平成30年度の実績値から低下し、「漸進」となった。

□ 平成31年度（令和元年度）の主な成果

- ・「環境教育プログラム利用校（園）の割合」は、保育園69.4%（25園）、幼稚園100%（2園）、小学校86.5%（45校）、中学校77.3%（17校）となった。これまで主に区立の保育園・幼稚園・小中学校に対し、環境教育プログラムの周知を行っていたが、新たに、児童館、あいキッズのほか、私立の保育園・幼稚園にも環境教育プログラムの周知を実施した。また、教育課程以外の場でも活用できるプログラムとして、児童館やあいキッズを対象としたプログラム（児童館プログラム4件、あいキッズプログラム5件）を新たに作成した。

◇ 進捗度が「漸進」又は「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

- ・環境教育プログラムの活用が伸び悩んでいるが、活用していない校舎も含めて、区立の保育園・幼稚園・小中学校における環境教育は板橋区環境教育カリキュラムに基づき、毎年着実に実施しており、今後はカリキュラムと各プログラムを関連づけるなど、より多くの先生方に活用してもらえるように、Webコンテンツの改善（検索性の向上やページデザインの変更）を行う。

◎ 指標と目標値の見直し

- ・変更なし。ただし、補足情報として、「児童館やあいキッズ等新たな提供先の利用率」を明示する。

施策3：人材の育成・活躍促進

■ 進捗状況

- ・成果指標の「④人材育成に関わる環境講座参加者数」は、「順調」に数値を伸ばし、令和7年度の目標値を達成した。「⑤環境学習講師派遣人数」は、平成30年度の実績値からは増加したが、平成26年度の基準年値よりも下回っているため「停滞」となった。

□ 平成31年度（令和元年度）の主な成果

- ・人材育成に関わる環境講座として、新たに、あいキッズ事業者に対する学習機会の提供を行った。令和2年度からは、児童館職員を対象とした研修も実施し、各主体で率先して環境教育プログラムを実践・活用していけるよう普及促進を図っていく。

◇ 進捗度が「漸進」又は「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

- ・「環境学習講師派遣人数」については、進捗率は基準に満たなかったが、平成30年度より増加している。講師派遣件数も増加（64件→74件）しているため、多くの活動主体に環境学習講座を提供できたと考えている。今後も、ESDやSDGsの視点を取り入れた指導者養成講座を実施し、エコポリスセンターの出前講座を担える人材の育成に努める。

◎ 指標と目標値の見直し

- ・④⑤ともに、変更なし。ただし、補足情報として「派遣件数」も明示する。

施策4：場・拠点の整備・活用

■ 進捗状況

- ・成果指標の「⑥環境登録団体数」は、平成30年度の実績値から増加し「順調」となった。

「⑦エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数」については、基準年値を下回った平成28年度から毎年順調に盛り返し、漸く令和元年度に基準年値も上回ったが、進捗率が基準を満たしていないため「漸進」にとどまった。

□ 平成31年度（令和元年度）の主な成果

- ・エコポリスセンターの登録環境団体同士の交流機会や活動成果の発信（館内展示）の機会を設けるなど、団体への支援を積極的に行った。また、「夏休みエコスクール」・「昔遊び」等の区民が講師となって実施する環境講座やワークショップなど、団体やエコライフサポーターの活動機会及び活動の場の提供を積極的に行った。

◇ 進捗度が「漸進」又は「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

- ・「環境登録団体数」については、令和元年度は増加したが、高齢化が進み活動を停止する団体もあることから、今後は、団体の支援だけでなく、エコライフサポーターの育成にも力を注いでいく。
- ・「エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数」については、今後も「板橋エコみらい塾」等の指導者養成講座でボランティア人材の育成・確保を図り、環境イベント・事業に参加する機会を設け、新たな活躍の場を提供していく。

◎指標と目標値の見直し

- ・⑥⑦ともに変更なし。ただし、補足情報として「個人ボランティア登録人数」も明示する。

施策5：学校等での環境教育の充実

■ 進捗状況

- ・「⑧外部人材を活用した環境学習実施校（園）の割合」は、平成29年度から進捗が鈍く「停滞」となった。

□ 平成31年度（令和元年度）の主な成果

- ・「外部人材を活用した環境学習実施校（園）の割合」は、保育園36.1%（13園）、幼稚園0%（0園）、小学校96.2%（50校）、中学校40.9%（9校）となっている。外部人材を活用した環境学習として、エコポリスセンターの出前講座のほか、民間事業者・地域住民・保護者等と連携した学習や、町会等の地域人材を活用した環境活動など、各学校・各教科領域に合わせた環境教育に積極的に取り組んでいる。

◇ 進捗度が「漸進」又は「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

- ・実績値が伸び悩んでいる要因として、保育園・幼稚園におけるエコポリスセンターの出前講座の活用率が低いことが挙げられる。エコポリスセンターの出前講座の周知方法や内容の見直しを行い、より活用してもらえよう努めていく。さらに、小中学校の教育課程内だけでなく、児童館やあいキッズ等の新たな主体への活用促進にも力を注いでいけるよう、教育委員会や子ども家庭部とも連携を深めていく。併せて、今後も各学校では、エコポリスセンター、民間事業者、地域と連携した環境教育を推進していく。

◎指標と目標値の見直し

- ・変更なし。ただし、補足情報として、「児童館やあいキッズ等新たな提供先の利用率」を明示する。

行動変容

■ 進捗状況

- ・「⑨エコ生活（アクション9）の実施状況」については、基準年値こそ上回っているものの平成30年度の実績値とほぼ横ばいとなり、「漸進」にとどまっている。「⑩環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合」については、平成30年度の実績値より上昇し「順調」となった。

□ 平成31年度（令和元年度）の主な成果

- ・「エコ生活（アクション9）の実施状況」は、地球温暖化防止のために暮らしの中でできる環境にやさしい9つの行動の実践の有無について、環境イベントの来場者にアンケートを実施した。
- ・「環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合」についても、区民向け講座や指導者養成講座でアンケートを実施することにより捕捉した。

◇ 進捗度が「漸進」又は「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

- ・「アクション9」については、令和元年4月には使い捨てプラスチック削減を呼びかける項目を取り入れるなど、現在の環境問題に即した内容に見直しを行った。引き続き、イベント等又はホームページやSNSを活用し、普及啓発を図っていく。

◎指標と目標値の見直し

- ・⑨⑩ともに変更なし。